

会議録

| | |
|-------------------|---|
| 会議の名称 | 第1回加東市総合計画審議会 |
| 開催日時 | 平成29年3月28日（火）午後1時30分～午後3時30分 |
| 開催場所 | 加東市役所 2階 201会議室 |
| 議長の氏名 | （会長 梅野巨利） |
| 出席及び欠席委員の氏名 | <p><出席委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・池田 康 ・田中和美 ・山本直樹 ・横山和夫 ・藤井悦雄 ・神戸賢吾 ・友藤富士子 ・梅野巨利 ・依藤栄一 ・藤本和之 ・下山絹子 ・藤井信孝 ・須田康之 ・高瀬久史 ・吉田実宏 ・竹内貞美 ・三木秀文 ・藤原壽郎 ・橋本匡史 <p><欠席委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・林山祐子 |
| 出席した市の職員の氏名及びその職名 | <p><事務局等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長 安田正義 ・協働部企画協働課長 長谷川 茂 ・協働部企画協働課主幹 小林寿泰 ・協働部長 芹生修一 ・協働部企画協働課副課長 前中公和 ・協働部企画協働課主事 戸田紘平 <p><事務局以外></p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会事務局長 西角啓吾 ・市民生活部長 松本和久 ・地域創造部長 中村隆文 ・上下水道部長 利山尚由 ・教育委員会事務局部長 堀内千穂 ・協働部防災課長 肥田繁樹 ・総務部長 時本敏行 ・福祉部長 丸山芳泰 ・まち・農整備部長 阿江孝仁 ・会計管理者 芹生泰博 ・病院事業部事務局長 大橋武夫 ・地域創造部まち未来課長 小林勝成 |
| 1 議題等 | <p>(1) 会長及び副会長の選出</p> <p>(2) 加東市総合計画の策定についての諮問</p> <p>(3) 報告・協議事項等</p> <p>総合計画の概要、第2次加東市総合計画策定方針、第1次加東市総合計画総括報告書、まちづくり市民ワークショップ結果報告書及び第2次加東市総合計画（基本構想等概案）について</p> |
| 2 会議資料 | 第2次加東市総合計画策定方針、第2次加東市総合計画（基本構想等概案）等（資料No.1～資料No.9） |
| 3 会議の経過 | ⇒別紙「第1回加東市総合計画審議会・会議の経過」のとおり |
| 平成29年5月11日 | <p>会長 梅野巨利</p> <p>副会長 三木秀文</p> |

(別紙) 第1回加東市総合計画審議会・会議の経過

| 発言者 | 会議の経過 / 発言内容 |
|---------|--|
| | <p>委嘱状交付 市長</p> <p>1 開会 事務局</p> <p>2 市長挨拶 市長</p> <p>3 委員等紹介 事務局</p> <p>4 会長及び副会長の選出(資料No.1) 会長に梅野巨利氏、副会長に三木秀文氏を選任</p> <p>5 加東市総合計画の策定についての諮問(資料No.2) 市長から梅野会長へ諮問書を手交</p> <p>6 報告・協議事項等</p> <p>(1) 総合計画審議会について(資料No.1、資料No.3) 事務局から説明 ・加東市総合計画審議会の運営に関する申し合わせ(資料No.3)について承認 ・委員名簿を公開することについて同意</p> <p>(2) 総合計画の概要について(資料No.4) 事務局から説明</p> <p>(3) 第2次加東市総合計画策定方針について(資料No.5) 事務局から説明</p> <p>(4) 第1次加東市総合計画総括報告書について(資料No.6) 事務局から説明</p> <p>(5) まちづくり市民ワークショップ結果報告書について(資料No.7) 事務局から説明</p> <p>【質疑応答等】</p> |
| 委員 | <p>・第2次加東市総合計画策定方針(資料No.5)の中で、今後の総合計画審議会の日程が6月、9月、10月開催予定となっているが、現段階で開催日を決めることはできないか。</p> |
| 企画協働課主幹 | <p>・次回の審議会は、6月30日(金)午後3時から滝野図書館での開催を考えている。その先のスケジュールについては、設定の可否を含めて会長と調整する。</p> |
| 委員 | <p>・早めに決める方が参加率も良くなると思うので、よろしく願いたい。</p> |
| | <p>(6) 第2次加東市総合計画(基本構想等概案)について(資料No.8、資料No.9) 事務局から説明</p> |
| | <p>【質疑応答等】</p> |
| 委員 | <p>○序論「第2章 加東市の魅力」について</p> <p>・「1 豊かな自然がひろがるまち」に関して、先日の神戸新聞の夕刊で「霧の名所」として豊岡市と佐用町が紹介されていた。加東市も冬は朝によく霧が発生するが、市の方にそういったデータはあるのか。</p> |
| 企画協働課主幹 | <p>・データは持っていない。</p> |
| 委員 | <p>・今、どこも霧が減っていると聞いている。「霧の名所」はつくろうとしてつくれるものではないが、加東市は池も川もあり、社パーキングエリアから加古川にかけてよく霧が発生する。五峰山から、霧が発生した中で朝日が昇るロマンチックな写真が撮れると私は常々考えていたので、その辺りも調べていただき、良ければ「霧の名所」も付け加えてもらえると嬉しい。</p> |
| 議長 | <p>・豊かな自然に霧も入るのではないかという意見である。</p> |
| | <p>○序論「第3章 社会潮流の変化」について</p> |
| 委員 | <p>・家庭内の事情はこれからさらに変化していくのではないかと。一つは、成人の家庭内の引きこもりの増加で、40代以上の統計はまだないようだが、30代の成人の引きこもりは多いと思われ、この10年間でかなり増えると予想される。</p> |
| | <p>・単身世帯も増加すると思われる。原因としては、一生未婚のままの男女が増加すると予想され、離婚によって子どもとひとり親という世帯も増えていくと思われる。また、子どもが他所に出て行ったまま帰ってこないために、老人だけが残ってしまい、一方が亡くなって単身になってしまうケースもあり、大変なことだと思ふ。</p> |
| | <p>・さらに、政府は在宅医療を推進する方針であり、団塊の世代が高齢化して看護が必要になると、とても病院では看られないので家庭で医療をしてほしいという意向が強まっていく。これも家庭内の事情の変化の一つだと思う。</p> |

| | |
|----------|--|
| 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・このような家庭内で起こる事情をどのように政策で取り上げていくのかは私も分からないが、対処していかなければならないことだと思う。 ・その問題は、「3 地域コミュニティの希薄化」に近いところがあるが、ここでは、コミュニティの方を重視した書き方になっている。委員の御指摘は単独世帯の増加や家庭内の成人引きこもり等、少し位置づけが違うので、今後どこかに入れるべきかどうか、社会環境の変化に家庭のあり方の変化も入るかどうか、考慮すべきかもしれない。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・こういう事象を挙げれば、女性の社会進出の問題も出てくると思う。労働力が不足して女性の労働力が必要になると、夫婦共働きになり、子どもの教育の関係や夫婦で上手く話し合いができない等の問題も出てくると思う。どこまで採り上げるかということになるが、細かなことを言い出すとそういう事象はたくさん出てくると思う。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・今の御意見は「2 ライフスタイルや価値観の多様化」の中のライフスタイルの変化やワーク・ライフ・バランスの問題とも関わるので、半分はカバーされているような感じである。そのような意見もあると受け止めていただきたい。 |
| 委員 | <p>○基本構想「第1章 将来目標」「1 将来像」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メインテーマの変更を議論する余地はあるのか。絶対に変えることができないテーマなのか。「山よし」と言われても具体的にどの山が兵庫県の他の自治体と比べて素晴らしいのかが分かりにくい。市民はそれで良いかもしれないが、市外への説得力は弱いと思うし、10年間使ってきたのでこの辺りで変更しても良いのではないかとも思う。 |
| 企画協働課主幹 | <ul style="list-style-type: none"> ・メインテーマは、現行計画において定めたものであり、絶対に継承しなければならないものではない。変更することは可能である。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・「山よし」の表現には、大きくとらえて自然も含まれていると考えている。 ・「山」よりも川や湖があるので「水」の方が良いと思う。「山」に自然環境全体が含まれていると言われたが、加東市の山が他所より自慢できるかと言われるとインパクトが足りない気がする。議論しても良いということなので、その点も審議会で検討してはどうか。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・何か良い標語があれば御提案いただければと思う。 |
| 委員 | <p>○基本構想「第1章 将来目標」「4 土地利用構想」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概括的に書いてあり、最後に「都市環境の調和がとれた計画的な土地利用」となっているが、具体的な内容として土地区画整理事業や産業団地の開発等を書いた方が良いと思う。区画整理はブームが過ぎたように思われているが、環境整備では大事なことであり、面的に小さなエリアでも行うと新しい道がついたり、環境が良くなる。また、小野市では大規模な産業団地の開発を行っているが、そういうことをしなければ、まちは活性化しない。古いまち並みになって、新しいまち並みがなくなってしまうとまちな魅力もなくなるし、まち自体が高齢化していくので、これからはできることは行っていくという姿勢を示すために、具体的に書けるものは書いてほしい。 |
| まち・農整備部長 | <ul style="list-style-type: none"> ・区画整理事業については、今の段階でできるかどうかという問題があり、また、道についてもネットワーク道路、国道、県道があるので、それと上手くつながるような手法を考えたいと思っている。具体的なことではなく、そういうものを目指していきたいという姿勢である。ただ、反対に書いてあった方が意見を出していただきやすくなるという部分があるので、その辺りは上手く調整していきたい。 |
| まち未来課長 | <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画の観点からも開発ができるようなことを書ければ良いが、そういう詳細については下部計画である都市計画マスタープランや土地利用計画等で決めていくことになる。総合計画は「あるべき姿」を書くものなので、そのすみわけが大事であると思う。 |
| 委員 | <p>○基本構想「第2章 まちづくりの視点(方向性)」「4 行政経営」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合計画を定めるに当たっては、市民との連携、行政との連携という形の中で、少子高齢化、財政再建、人口減少という厳しい部分がある。したがって、市民生活を良くするには、財政の安定を図るために収入を増やすことが必要になる。つま |

| | |
|---------|---|
| 企画協働課主幹 | <p>り、税収を上げることが市民サービスに直結する。そういう意味では、テーマを決めることは重要な課題であり、民間の場合は利益を残すための計画を立てるが、ここでの利益とは、外から転入する人の増加や、少子高齢化の中でも子育て世代を増やすために子どもが住みよいまちをつくっていく等、いろいろな形があると思う。中身を漠然と考える中で理解できないことがあるが、新しいテーマの設定や市を経営する計画の中に我々はどのような形で参加すればよいのか。</p> |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・確かに市民との協働をどのように考えるかは難しいところだと思う。できることとできないことがあるので、できる範囲で市民の方々がどのように計画づくりやまちづくりに取り組んでいけるかというところを中心に考えていただきたい。 ・まちづくりを進めていく主体は、行政だけではなく市民の方々も含めた全体であると考えており、そういうイメージの中でテーマ設定についても検討いただき、御意見をいただければ良いのではないかと考えている。 |
| 委員議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・この意見は、行政経営について、財政の安定、あるいは安定した収入を得るにはどうしたらよいかということ、もう少し分かりやすく表記すべきではないかということであると思う。 ・そうでなければ、分からないところがある。 ・夢を追うような言葉が多いので、もう少し現実的に安定した財政に向けた取組を書くことが必要ではないかということである。「限られた財源を有効に」とあるが、どのように税収を増やしていくかという辺りが見えるような表現をしてほしいという解釈だと思う。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・「市民に信頼される行政経営を目指す」とあるが、あれもこれもすると行って財政が崩れてはどのようなもので、それについての言葉があると良い。 |
| 委員 | <p>○基本構想「第1章 将来目標」「3 まちの住みよさ実感」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を70%以上に設定されているが、「住みよい」と回答した理由を追究することが大事である。過去の調査では70%近い実績となっており、安心安全がその大きな要因ではないかと推測されるが、人々のつながりや納税に対して受けられるサービスが優れているという理由もあるかもしれない。その辺りは分析して追究していくことが大事だと思う。 |
| 企画協働課主幹 | <ul style="list-style-type: none"> ・直近のアンケートにおいては、「住みよい」と回答された方が加東市の良いところをどのように考えているのかを把握するためにクロス集計を行ったが、「自然環境がよい」という回答をされた方が多かったと記憶している。改めて整理させていただきたい。 |
| 委員 | <p>○基本構想「第2章 まちづくりの視点(方向性)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P13の図は大事な図だと思う。協働の仕組みをどうつくるかが大事だと思うが、例えば「ひとづくり」と「まちづくり」の協働については、まちづくり市民ワークショップのような取組が当てはまると思う。「くらしづくり」と「まちづくり」のところは住環境の整備や雇用の問題が入ると思うし、「ひとづくり」と「くらしづくり」は主に家族の領域で子育て支援や医療の問題もあると思う。その辺りをまちづくり市民ワークショップで出された意見と絡めながら、どういうところがそれに当たるのか、それに対して行政はどのように支援できるのかということを考えることが大事だと思う。 |
| 企画協働課主幹 | <ul style="list-style-type: none"> ・協働の考え方については、それぞれの視点での共通する内容も見ていく必要があるが、文章としてはその部分を書きにくいので、表記の仕方あわせて検討したい。 |
| 委員 | <p>○基本構想「第1章 将来目標」「1 将来像」について</p> <p>○序論「第2章 加東市の魅力」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来像の「山よし！技よし！文化よし！」の文章を見せたいのは、私のような移入者、産業関係者、あるいは、子育てのために定住しようと思う人たちではないのか。つまり、市外に出て行く人をここにとどめるために見せる文章だと思うが、これはそれを訴求する文章になっているのか。私も「山よし」とは何か分からなかった。最終的に何を求めて、どういう都市になりたいかということが分かるような将来像の方が良いと思う。文化都市なのか、生活都市なのか、調和した都市なのか、 |

| | |
|---|--|
| <p>議長</p> <p>企画協働課主幹</p> <p>委員 委員</p> | <p>神戸市と何が違うのか、そういうところが見える文章であると良いと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それに関連して、加東市の魅力について、私も住みやすくて良いまちだと思う。これほど豊かなのは、自然災害が少ないからだと思う。台風もあまり来ないし、地震も火災も少ない。書きにくいと思うが、その辺りの内容を加えてはどうか。 ・また、1番から9番までの加東市の魅力の優先順位として、外から来た人が、加東市はオリジナリティがあって魅力があると感じるのは、6番、8番、9番だと思う。自然も魅力だが、自然については近隣都市は皆同じ環境である。加東市が近隣都市と比べて優れていると感じる、それらの優先順位を上げる、あるいはクローズアップする方がアピールになると思う。 ・加えて、細かなことだが、目標人口38,200人については、近隣都市から人を奪うのではなく、今いる人たちを守りながら、産業関係者を増やすことを考えることが必要なので、ターゲットに訴求できるような表現が一番大事だと思う。 ・訴求ポイントを絞って差別化をするということで、例えば、神戸市とは違う加東市独自の魅力が明確に分かるようなキーワード、将来像、そしてそれに対する魅力の優先順位もその順番でつけてはどうかという御意見である。 ・1点目について、御意見にあったように書きにくい表現ではあるが、5番目の「住環境が優れたまち」の3行目に、少し控えめに「比較的災害が少ない地域」という表現を入れている。この表現に関してはどうか。 ・もう少し強調しても良いと思うが、そのようにしか書けないかもしれない。 ・その部分に、「防災組織が整備された」という文言も付け加えていただけると嬉しい。偶然災害が少ないというだけでなく、人々の働きによってこういう魅力があるということもアピールしていただけたら良いと思う。 <p>7 その他</p> <p>(1) 次回の審議会の日程について 次のとおり決定 日時：6月30日（金）午後3時～ 場所：滝野図書館 3階 会議場</p> <p>(2) その他 意見等の提出期限：4月5日（水）</p> <p>8 閉会 三木副会長</p> |
|---|--|